

(別紙)

自己評価および外部評価票

「自己評価の実施状況(太枠囲み部分)」に記入をお願いします。(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社内研修でホームの理念を学ぶと共に、当社の理念(クレド)を事務所内に掲示してあります。毎朝復唱し、理念の共有に努めています。	クレド(理念)を毎朝の申し送り時に唱和し共有している。「共助の心」「福祉の心」の実践として笑顔を大切にしている。	事業所理念(クレド)は管理者と職員に、良く共有されており、サービスに繋げている。更に理念の普及について、地域や家族に周知することを期待したい。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の自治会に加入し、地区の行事に参加しています。ゴミステーションの清掃など、地域活動にも協力しています。地区の神楽舞いも訪問してくれます。	本町地区と中島東地区との交流に努めている。PTAや育成会や地区の行事に参加し、バーベキュー大会等で地区との交流に努めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の育成会や介護教室に参加して、グループホームの役割や、認知症の理解や支援方法について講演しました。			
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者状況やホームの様子を報告しています。質疑応答では活発な意見交換が行われています。会議内容の議事録を作成し、サービス向上に活用しています。	直近では23年1月13日、5月10日、8月5日と定期的開催されている。運営推進会議を通じ民生委員とのコミュニケーションが向上している。地震等の防災、外部評価、事業所の行事等が報告されたり話し合っている。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	長野市介護保険課や、地域包括支援センター、地区の民生委員などと連絡を取り合い、協力関係を築いています。	苦情等の解決事例では、長野市介護保険課、地域包括支援センター、地区の民生委員と連携し協力している。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会を行い、スタッフが具体的な行為を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでおります。	「身体拘束ゼロの手引き」のマニュアルを整備し、22年11月25日に「虐待、身体拘束の廃止」の研修を実施している。玄関は日中施錠せずチャイムで出入を確認している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止についての研修会を勉強会を開催し、虐待防止の徹底に努めています。			

さわやか川中島(第1ユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホームの入居者に後見人を利用している利用者が居ます。制度について学習する機会があり、関係者と話し合い、活用できる様に支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約者と共に読み合わせを行い、不明な点などがあつた場合は、理解して頂けるまで説明しています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置しています。直接スタッフに、意見や要望を話される方も居ます。内容を引き継ぎ、話し合いを行い、運営に反映させています。	「さわやか川中島便り」により利用者の様子や事業所の行事を伝えている。相談ボックスや口頭で利用者や家族の意見要望を聞いている。直近では2件の家族からの申し出があり、会議を通じ解決している。	利用者調査で家族からは職員の様子についてもっと知りたい希望があると推測されます。お便り等で職員の姿を紹介できることを期待します。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は職員の相談窓口になっています。定例会議の際や、毎朝の引き継ぎ時を始め、随時意見や提案を聞く体制があります。内容を話し合い、引き継ぐ事で運営に反映させています。	職員会議を毎月開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。業務内容をマトリックスに表示し仕事の分担を再編している。個別の対応は毎朝のミーティングで反映している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、スタッフがやりがいと向上心を持って働ける様に、福利厚生制度を取り入れ、職場環境と条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、スタッフに研修会やセミナーへの出席や参加を促し、常にスタッフがスキルアップ出来る様に努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、スタッフに講演会などへの出席や参加を勧め、サービスの質の向上の為に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を行い、関係者各位から情報収集を行うと共に、御本人の希望や要望に傾聴し、安心を確保するために関係作りに努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する前の段階から、御家族の意見や要望に傾聴し、御家族が安心して頂ける様に、信頼関係作りに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	スタッフは、広い視野を持ち、情報を的確に分析し、現在必要なサービスを見極め、支援が行える様に努めています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは、利用者と同じ目線で行動する様に心掛け、日常生活を共に過ごす仲間としての関係を築いています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族も、御利用者を支え合うチームメンバーの一員であると考え、利用者や御家族との絆を大切に、共に支え合う関係を築いています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に入居する事で、今まで築いて来た関係を途切れさせてしまう事の無い様に、馴染みの人間関係や懐かしい場所との関係を継続する様な支援に努めています。	家族や近所の方の面会には制限を設けないで対応している。利用者の出身地への旅行プランを作成し自宅や昔の友達、近くの観光地を訪問するなど馴染みの関係を継続できるよう努力している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ屋根の下で暮らす仲間や家族として、利用者の皆様とスタッフが支え合いながら、一緒に楽しく暮らして頂ける様、支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了し、退去された後でも、必要に応じてその都度、相談や支援などのフォローに努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者御自身の意志を尊重しながら、スタッフが積極的に関わる事で、一人ひとりの希望や意向の把握に努めています。	23年5月にアセスメントシートを改定し全利用者の思い、希望、意向を把握している。「私をしているシート」「していないシート」にまとめられ介護計画に反映している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談からの情報収集に加え、日常的な会話の中からも、ご利用者の生活歴や生活環境などのバックグラウンドを把握する様に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアシートや個別記録などを活用する事で、御利用者一人一人の生活サイクルを知り、個々の状況や能力を把握する様に努めています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者御自身や御家族の意見や希望を元に、関係各位と話し合いをしながら介護計画を作成しています。	介護計画は担当者、利用者の家族の意見や希望を元に看護師の意見を聴き作成している。モニタリングはスタッフが話し合っている。困難事例は職員会議で検討されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	御利用者の様子は個人毎に記録をしています。容態に応じて別途の記録用紙を作成し、情報の共有に努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一方的な固定観念などに捉われずに、時と場合に応じて、臨機応変で柔軟な対応を行える様に、取り組んでいます。		

さわやか川中島(第1ユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を活用し、個々の能力を生かしながら豊かな暮らしが行える様に支援しています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族や本人の希望するかかりつけ医との連絡調整や、必要に応じて情報提供を行う事で、適切な受診が行えるように支援しています。	かかりつけ医は従前のかかりつけ医を尊重している。歯医者については本人の希望に応じて対応している。メンタルクリニックの支援を新しく始めている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	御利用者の様子や容態を看護職に報告し、相談する事で適切な受診や看護が受けられるよう支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、早い時期に医療機関への情報提供や連絡調整を行い、関係保持に努めています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に関する指針を作成し、御家族やご利用者に同意を得ています。事態が発生した場合は、早急に相談する場を設け、チームでの支援に取り組んでいます。	終末期については「重度化した場合における指針」を作成し個別の同意を得て支援に取り組んでいる。看取りについてもかかりつけ医と連携し関係者とチームで支援している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修を行い緊急時に対して備えています。また、マニュアルやフローチャートを作成し、全職員が急変時や緊急時に対応出来る様に努めています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年次計画に基づき防災訓練を行っており、避難誘導訓練や防災に関する知識や技術を学んでいます。地域にも協力を依頼してあります。	防火管理者を定め、グループの相互協力関係を強化している。水や食料の備蓄をしている。運営推進会議やバーベキュー大会等により地域と相互の協力関係を築く事を努力している。防災意識は高い。	自主防災計画を立て毎年継続して避難訓練を計画し、実施している。水害等や様々な想定により引き続き継続して取り組まれることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアルを作成し、社内研修会を行う事で、個々の人格を尊重し、一人ひとりに適した声掛けや対応を行う様になっています。カーテンの設置などでプライバシーの保護に努めています。	認知症ケアに関するマニュアルやプライバシーに関するマニュアルが整備されている。個人情報の保護に関する研修を実施し継続的改善に努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフの目線で物事を判断決定せず、利用者の希望や意志を感じ取る事に努め、自己決定が行えるように働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	人生の主演はあくまでも利用者さん御本人である事を心掛け、御利用者一人ひとりが、自身が望む生活ペースで過ごせる様な支援をしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類や装飾品など、利用者と一緒に選択しています。個人の好みや希望に応じた、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援しています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフと御利用者が一緒に準備や後片付けを行います。また、同じ場所で食事する事で、楽しい雰囲気の中で食事を食べられる様に支援しています。	広いゆったりとしたフロアで楽しんで食事ができるよう工夫している。スタッフと利用者が準備や後片付けをしている。献立表により家庭的なメニューに心がけている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態や能力に応じ、また、御本人の嗜好を知る事で、栄養や水分を摂取していただけるよう支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	チェック表を作成し、それぞれの能力や口腔内の状態に応じて、適切な口腔ケアが行える様に、食事毎に支援をしています。		

さわやか川中島(第1ユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表により個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が行える様に支援しています。必要に応じて排泄のカンファレンスを行っています。	サービス提供のチェック表記録を元に排泄パターンを把握しトイレでの排泄の自立を支援している。トイレは広く清潔感がある。家族と相談により紙パンツや尿とりパットの対応をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の症状や状態に応じて、水分摂取や運動などの便秘予防に取り組んでいます。チェック表を作成する事で、排便ペースを確認しています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者の希望や状態に応じて、希望する時間に気持ち良く入浴していただける様に支援しています。週に2~3回の入浴を目処にしています。	入浴は午前中自由に楽しめるよう支援している。午後希望に応じ入浴できるよう支援している。入浴回数は入浴チェック表により管理している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室内の明るさ、入眠時間や寝具の種類など、個々の状態や希望に応じて安眠出来る様に支援しています。午睡の時はソファや畳も使用しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の情報をファイリングし、情報を共有しています。看護師を中心に、適切な内服支援や状態変化の確認が行える様にしています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の嗜好や希望に応じて気分転換が行える様に、歌集、ビデオ、折り紙、本、塗り絵などが用意してあります。縫物や貼り絵、習字が出来る様にもしています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御家族にも協力して頂き、希望時に外出して頂ける様に支援しています。屋外の散歩や、畑仕事、草取りなどの外出は日常的に行っています。	今年は暑かったので川中島駅までの積極的な外出はなかった。近くでの畑や近所の散歩、買い物支援を行っている。家族からは戸外の外出支援の希望がある。	

さわやか川中島(第1ユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は利用者本人が現金を所持する事の大切さを理解しています。本人の希望に応じて買い物が行えるように支援をしていますし、ホーム内で好きなパンを購入出来る様な支援もしています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族にも協力頂き、御本人から要望があれば、電話を掛けられるように支援しています。また、手紙の取り次ぎも支援しています。毎年、御家族には年賀状を書いて出しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	内装は落ち着いた木目を基本とし、装飾も派手な物は避けています。庭に咲く季節の花々を飾り、雛人形やクリスマスツリーなどの季節毎の飾り付けを行っています。	共有の空間は統一され色調、空調の配慮されている。トイレは清潔感があり管理されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルのスペースと、ソファのスペースを分けています。その他にも座れる場所を設け、気分や状況に応じた居場所がある様に工夫しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋内は、利用者のお好きな様に家具などを配置しています。使い慣れた家具や思い出の品などを持ち込んでいただく事で、本人の居心地が良い様に工夫をしています。	部屋は夫婦で生活できたり、部屋で洗面ができるように配慮されている。個室毎にクーラーが設置されており快適な環境に配慮している。個人のダンス等馴染みの品が持ち込みできる。部屋は広くゆったりしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで安全な環境になっています。手すりの設置や個室内のカウンターなど、出来るだけ自立して生活していただける様に工夫も施してあります。		